

2022年度 シラバス (講義計画)

学校法人 立志舎
大阪 I Tプログラミング&会計専門学校天王寺校
【 I Tビジネス学科】

頁数	科目区分	必修 選択必修 選択	授 業 科 目	授業 形態	第一学年		第二学年		授業時数 合計	単位数 合計		
					授業時数	単位数	授業時数	単位数				
1	一般科目	必修	就職ゼミナールⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
2			就職ゼミナールⅡ	講義 演習			20 60	4	80	4		
3		選択必修	就職セミナー	講義 演習	5 15	1			20	1		
4			企業研究	講義 演習	5 15	1			20	1		
5			ビジネスマナー	講義 演習				20 60	4	80	4	
6	必修		ハードウェアⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
7			ソフトウェアⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
8			システム設計Ⅰ	講義 演習	20 60	4			80	4		
9			経営戦略Ⅰ	講義 演習	20 60	4			80	4		
10			選択必修A	システム開発演習Ⅰ	講義 演習				10 30	2	40	2
11	システム開発演習Ⅱ	講義 演習					10 30	2	40	2		
12	プレゼンテーション演習	講義 演習					20 60	4	80	4		
13	専門科目	選択必修	C言語	講義 演習	20 60	4			80	4		
14			TCP/IP演習Ⅰ	講義 演習	20 60	4			80	4		
15			アセンブラ言語	講義 演習	20 60	4			80	4		
16			システム開発Ⅰ	講義 演習	10 30	2			40	2		
17			システム開発Ⅱ	講義 演習	10 30	2			40	2		
18			ソフトウェアⅡ	講義 演習	20 60	4			80	4		
19			コンピュータシステムⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
20			ハードウェアⅡ	講義 演習	20 60	4			80	4		
21			ホームページ作成	講義 演習	20 60	4			80	4		
22			表計算演習	講義 演習	20 60	4			80	4		
23			情報システムⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
24			Python	講義 演習	20 60	4			80	4		
25			表計算プログラミング	講義 演習	20 60	4			80	4		
26			文書表現演習	講義 演習	20 60	4			80	4		
27			JavaScript	講義 演習				20 60	4	80	4	
28			Python演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
29			Windows基礎	講義 演習				20 60	4	80	4	
30			サーバ構築演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
31			JavaScript演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
32			JavaⅠ	講義 演習				20 60	4	80	4	
33			JavaⅡ	講義 演習				20 60	4	80	4	
34			コンピュータシステムⅡ	講義 演習				20 60	4	80	4	
35			コンピュータシステムⅢ	講義 演習				20 60	4	80	4	
36			システム設計Ⅱ	講義 演習				20 60	4	80	4	
37			ソフトウェアⅢ	講義 演習				20 60	4	80	4	
38			ハードウェアⅢ	講義 演習				20 60	4	80	4	
39			情報分析演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
40			卒業システム開発	演習				160	8	160	8	
41			卒業研究	演習				160	8	160	8	
42			卒業制作	演習				160	8	160	8	
必修科目合計					400	20	80	4	480	24		
選択必修科目合計					1,080	54	1,760	88	2,840	142		
選択科目合計					0	0	0	0	0	0		
卒業に必要な総授業時数					920	46	800	40	1,720	86		

※1. 選択必修Aについてはこの中から4単位以上履修すること。

※2. 選択必修のうち「卒業システム開発」または「卒業研究」または「卒業制作」のいずれかを必ず選択しなければならない。

科目名：就職ゼミナールⅠ

開講年次：1年

単位数：4

種類：一般科目

分類：必修

授業方法：講義・演習 授業時数：80

担当教員：本学教員及び実務経験のある
教員(人材育成業務に携わった
実績がある企業担当者)

[講義主要目標及び講義概要]

卒業後の進路選択を行う段階として、進むべき業界及び職種の研究を行う。また、面接試験演習やグループディスカッションを通して、どのように発言すれば趣旨を伝えることが出来るのかなどの伝達方法や表現方法について学習する。

[講義・演習項目]

1. 礼儀・マナーの知識
2. 敬語表現
3. 業界研究
4. 職種研究
5. 筆記試験演習
6. 面接試験演習
7. グループディスカッション
8. 映像等による事例研究

[テキスト]

定番SPI基礎ベシック、定番SPI問題集、必要に応じプリントを配布する。

[成績評価]

授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：就職ゼミナールⅡ

開講年次：2年

単位数：4

種類：一般科目

分類：必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

卒業後の進路選択を行う段階として、進むべき業界及び職種の研究を行う。また、面接試験演習やグループディスカッションを通して、どのように発言すれば趣旨を伝えることが出来るのかなどの伝達方法や表現方法について学習する。

[講義・演習項目]

1. 礼儀・マナーの知識
2. 敬語表現
3. 業界研究
4. 職種研究
5. 筆記試験演習
6. 面接試験演習
7. グループディスカッション
8. 映像等による事例研究

[テキスト]

定番SPI基礎ベシック、定番SPI問題集

一般常識チェック&マスター、必要に応じプリントを配布する。

[成績評価]

授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：就職セミナー

開講年次：1年

単位数：1

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：20

担当教員：本学教員及び実務経験のある教員(システム開発と採用業務に携わった実績がある担当者)

[講義主要目標及び講義概要]

卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指す。特に、社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方・行動の仕方の理解を深め、礼儀・マナーの修得、面接練習等を行う。

[講義・演習項目]

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 職業についての考え方 | 8. 映像等による事例研究 |
| 2. 就職を取り巻く社会状況の分析 | 9. 就職試験演習 |
| 3. 就職活動の予備知識 | 10. 面接練習 |
| 4. 官公庁研究及び企業研究の方法 | |
| 5. 自己分析の仕方 | |
| 6. 礼儀・マナーの知識 | |
| 7. 敬語表現 | |

[テキスト]

種々のプリント、映像等を中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のレポート内容、出席等を総合して判断する。

科目名： 企業研究

開講年次： 1年

単位数： 1

種類： 一般科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 20

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

就職活動に伴う企業研究として、実際に活躍している各業界を代表する人事担当者より、会社の特徴や仕事内容、採用試験、企業の求める人物像などについて講演をしていただき、実際の仕事概要等を深く理解することにより、今後の就職活動に向けて自ら考え、行動する力を養成する。

[講義・演習項目]

1. 企業研究の方法
2. 参加する企業についての事前研究
3. 各企業の人事担当者からのご講演
4. 参加した企業について事後研究

[テキスト]

各企業が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： ビジネスマナー

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 一般科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

ビジネスマナーを身に付けるために、社会人としておさえるべき基本項目を解説し、問題点、行動を考察する。

[講義・演習項目]

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 身だしなみの基本 | 8. 他社訪問の基本 |
| 2. コミュニケーションの基本 | 9. ビジネス文書の基本 |
| 3. 話し方・聞き方の基本 | 10. ビジネスメールの基本 |
| 4. 電話対応の基本 | 11. 会食の基本 |
| 5. 敬語の基本 | 12. 葬儀の基本 |
| 6. 指示・報告・連絡・相談の基本 | 13. 結婚式・お見舞いの基本 |
| 7. 来客対応の基本 | |

[テキスト]

入社1年目ビジネスマナーの教科書

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ハードウェア I

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

コンピュータで扱われる数値や文字の取り扱い、コンピュータを構成する各種装置、ネットワーク技術の基本事項について学習する。

[講義・演習項目]

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 数値表現 | 8. パソコンの組み立て |
| 2. 文字表現 | 9. ネットワークの構成機器 |
| 3. 論理演算 | 10. 伝送制御技術 |
| 4. コンピュータ構成要素 | 11. O S I 参照モデル |
| 5. 主記憶装置及び補助記憶装置 | 12. T C P / I P の種類と特徴 |
| 6. 中央処理装置 | 13. ネットワーク技術基礎 |
| 7. 周辺機器 | |

[テキスト]

I T ワールド

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ソフトウェア I

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

各種ソフトウェア、データベース、データ構造とアルゴリズムの基本事項について学習する。

[講義・演習項目]

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. ソフトウェアの分類とOS | 8. データベース設計 |
| 2. プロセス管理とスケジューリング | 9. SQL文法 |
| 3. 同時実行制御 | 10. DBMS |
| 4. 割込み制御 | 11. データ構造 |
| 5. ジョブ管理とタスク管理 | 12. アルゴリズム基礎 |
| 6. 記憶管理 | 13. フローチャート |
| 7. ファイル管理 | |

[テキスト]

ITワールド

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：システム設計 I

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

情報システム開発の業務プロセスを概観し、各開発プロセスを理解し活用できる知識を身につけることを目標とする。

[講義・演習項目]

1. S L C P 開発プロセス
2. システム開発技法
3. オブジェクト指向設計
4. システム開発環境
5. W e b アプリケーション開発

[テキスト]

I T 戦略とマネジメント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：経営戦略Ⅰ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

代表的な経営情報分析手法について学習し、経営戦略に関する基本的な考え方を理解する。ITが企業の経営戦略に重要な影響を与えることの意義を説明できることを目標とする。

[講義・演習項目]

1. 経営戦略の区分
2. マーケティング戦略
3. ビジネス戦略
4. バランススコアカード
5. 経営管理システム
6. 技術開発戦略
7. ビジネスシステムの種類
8. エンジニアリングシステムの種類
9. e-ビジネスの種類
10. 民生機器と産業機器の種類

[テキスト]

IT戦略とマネジメント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：システム開発演習 I

開講年次：2年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修 A

授業方法：講義・演習

授業時数：40

担当教員：実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

企業と連携しながら、システムを開発するための基本的なドキュメント、ソースコードの作成方法について必要となる知識を習得する。

[講義・演習項目]

1. プロジェクト内容習熟
2. クラス図、シーケンス図等の理解
3. コード作成に必要な言語力の習得
4. テストケースの作成方法
5. スケジューリング

[テキスト]

J a v a プログラミング、J a v a プログラミング・アドバンス

J a v a システム開発技法、J a v a システム開発演習

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：システム開発演習Ⅱ

開講年次：2年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修A

授業方法：講義・演習

授業時数：40

担当教員：実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

企業と連携しながら、ドキュメントの作成やJ a v a言語を用いたソースコードの作成、テスト、レビューを行うことで、より実践的にシステム開発の一連の流れや必要となる知識を習得する。

[講義・演習項目]

1. プロジェクト内容習熟の応用
2. クラス図、シーケンス図等の作成
3. コード作成
4. 単体テスト
5. 結合テスト
6. 内部レビュー
7. 外部レビュー
8. 成果発表

[テキスト]

J a v aプログラミング、J a v aプログラミング・アドバンス

J a v aシステム開発技法、J a v aシステム開発演習

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：プレゼンテーション演習

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修A

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員及び実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

企業の動画制作担当者から与えられる課題を基にしてグループワークを行い課題解決に努め、その成果をプレゼンテーションする。

[講義・演習項目]

1. よいプレゼンテーションとは
2. 課題解決のための資料収集
3. グループワークによる資料作成
4. リハーサル
5. プレゼンテーション

[テキスト]

企業から配布される資料

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名： C言語

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

C言語の文法及び基本構造についてプログラミングを行いながら学習する。

[講義・演習項目]

1. C言語の特徴
2. C言語の基本文法
3. データ型の種類と変数の宣言
4. 標準入出力関数
5. 構造化プログラミングの特徴
6. 条件分岐文
7. 繰り返し文
8. 関数の定義
9. 配列操作（文字列操作を含む）
10. 再帰的プログラム

[テキスト]

Cプログラミング

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： TCP/IP演習 I

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

セキュリティ実習では、疑似環境でセキュリティ攻撃を行うことで脅威を体験的に理解する。ネットワーク実習では、Cisco機器にネットワークの設定を行うことで、実務能力を習得することを目標とする。セキュリティとネットワークに関する講義と演習を行う。

[講義・演習項目]

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. SQLインジェクション | 8. ネットワークの全体像 |
| 2. クロスサイトスクリプティング | 9. ネットワークアーキテクチャ |
| 3. クロスサイトリクエストフォージェリ | 10. イーサネット |
| 4. ディレクトリ・トラバーサル | 11. TCP/IP |
| 5. OSコマンドインジェクション | 12. IPアドレッシング |
| 6. セッション管理の不備 | 13. スイッチングとルーティング |
| 7. Fiddlerの使い方 | 14. Cisco機器の扱い方 |

[テキスト]

プリント、ゼロからはじめるCCNA「超」基礎講座、ネスペの基礎力

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：アセンブラ言語

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

コンピュータが動作する基本的な仕組みを理解するために、アセンブラ言語を学ぶ。仮想計算機COMET IIを題材にしてメモリやアドレス、アセンブラ命令と動作の仕組みを学習し、アセンブラ言語の基本的なプログラムを追跡できるようにする。

[講義・演習項目]

1. COMET IIの仕様とハードウェア構成
2. レジスタと命令の種類、データ表現
3. アセンブラ命令とマクロ命令
4. 機械語命令①：転送、加減算、論理演算
5. 機械語命令②：分岐、比較、シフト演算
6. 機械語命令③：その他の命令
7. 基本的なアセンブラプログラムの演習

[テキスト]

CASL IIプログラミング

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： システム開発 I

開講年次： 1年

単位数： 2

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 40

担当教員： 実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

企業と連携しながら、システム開発全体の理解やアルゴリズム、データベースなどの知識を習得する。また、グループ学習を通じて、コミュニケーション能力を向上させる。

[講義・演習項目]

1. システム全体像の理解
2. グループミーティング
3. フローチャートの作成
4. SQL
5. スケジュール管理

[テキスト]

システム開発入門

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名： システム開発Ⅱ

開講年次： 1年

単位数： 2

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 40

担当教員： 実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

企業等と連携し、IT業界に関する豊富な経験と最新の知見を有する実務教員の講義を受講する。事前に業界・職種の研究をグループワークで行い、その後、実務教員のシステム開発や運用、それに関わる職種、またIT業界の最新動向等についての講義を受講する。

[講義・演習項目]

1. 業界研究
2. 職種研究
3. システム開発について
4. システム運用について
5. IT業界の最新動向

[テキスト]

連携企業等作成のレジュメ

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：ソフトウェアⅡ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

各種ソフトウェア、データベース、データ構造とアルゴリズムについて、応用知識を身につける。

[講義・演習項目]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. OSの管理機能 | 8. データベース設計応用 |
| 2. 言語プロセッサ | 9. SQLの操作 |
| 3. 同時実行制御と排他制御 | 10. DBMS |
| 4. 割込み制御 | 11. データ構造 |
| 5. その他の管理機能 | 12. アルゴリズム応用 |
| 6. プロセス状態遷移 | |
| 7. プログラム実行制御 | |

[テキスト]

ITワールド、応用情報技術者試験対策テキスト 試験対策テキストI

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： コンピュータシステム I

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

コンピュータシステムにおける理論や技術を理解し、業務改善におけるシステム化にて、これらを総合的に活用できる知識を身につけることを目標とする。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 情報理論 | 8. データベース設計技術 |
| 2. ハードウェア理論 | 9. 組込みシステム設計技術 |
| 3. ソフトウェア理論 | 10. サービスマネジメント事例解析 |
| 4. アルゴリズムの演習 | 11. プロジェクトマネジメント事例解析 |
| 5. システム構成技術事例解析 | 12. システム監査事例解析 |
| 6. ネットワークシステム事例解析 | |
| 7. 情報セキュリティシステム事例解析 | |

[テキスト]

ITワールド、IT戦略とマネジメント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ハードウェアⅡ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

ハードウェア関連技術、アーキテクチャ、パフォーマンスについて学習する。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 情報基礎理論 | 8. 高速化技術 |
| 2. データ表現 | 9. 冗長化技術 |
| 3. プロセッサアーキテクチャ | 10. システム構成技術 |
| 4. メモリアーキテクチャ | 11. コストパフォーマンス |
| 5. その他の補助記憶装置 | 12. 組込みシステム |
| 6. 入出力アーキテクチャ | |
| 7. コンピュータの性能評価 | |

[テキスト]

ITワールド、応用情報技術者試験対策テキスト 試験対策テキストI

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ホームページ作成	開講年次：1年	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義・演習	授業時数：80
	担当教員：本学教員	
[講義主要目標及び講義概要]		
<p>Webクリエイター能力認定試験スタンダードレベルのHTML及びCSSの正しいコードを記述し、基礎的なWebサイトを製作できる能力を養う。</p>		
[講義・演習項目]		
1. HTMLの記述方式の基礎	8. フォント、背景、配置タグの基礎	
2. 一般定義に使用するタグの基礎	9. ボックス、疑似クラス、IDに関する基礎	
3. 仕切り、文字修飾の基礎		
4. イメージ、マルチメディアの基礎		
5. リスト、作表の基礎		
6. リンクの基礎		
7. CSS記述の基礎		
[テキスト]		
Webクリエイター能力認定試験HTML5.0対応スタンダード公式テキスト		
[成績評価]		
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。		

科目名：表計算演習

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

Microsoft Excelの基本機能と操作方法を講義・演習し、集計表やグラフの作成ができるようにする。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ワークシートやブックの作成と管理 | 9. テーブルスタイルのオプション |
| 2. ワークシートやブックの書式設定 | 10. フィルターと並べ替え |
| 3. ワークシートやブックのオプション | 11. 数式や関数を使用した演算の実行 |
| 4. ヘッダー、フッターの調整 | 12. 集計関数 |
| 5. 印刷設定 | 13. 条件付き関数 |
| 6. セルやセル範囲のデータの管理 | 14. 文字列関数 |
| 7. セルやセル範囲の書式設定 | 15. グラフやオブジェクトの作成 |
| 8. テーブルの作成 | 16. グラフやオブジェクトの書式設定 |

[テキスト]

MOS攻略問題集 Excel2016、30時間でマスター Excel&Word2016

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：情報システム I	開講年次：1年	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義・演習	授業時数：80
	担当教員：本学教員	

[講義主要目標及び講義概要]

システム開発の概要とシステムの構築、設計、開発から運用までの基礎と開発者と利用者の両面で活用できる知識を身に付け、様々な業界の情報システムの構築から運用までの事例を踏まえ、基本的なシステム構築の講義と演習を行う。

[講義・演習項目]

1. データベースシステムの演習
2. ネットワークシステムの演習
3. 情報セキュリティシステムの演習
4. システム開発の演習
5. プロジェクトマネジメントの演習
6. ITサービスマネジメントの演習
7. システム監査手法
8. IT戦略研究
9. 経営戦略研究

[テキスト]

ITワールド、IT戦略とマネジメント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：Python

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

Pythonによる基本的なプログラミングができるようにする。また、Javaとの違いを確認しながらPython特有の表現を中心に講義、演習を行う。

[講義・演習項目]

1. Pythonの特徴と開発手順
2. 入力、出力、演算
3. 制御構造（選択、繰り返し）
4. 配列（リスト、タプル、集合、辞書）
5. 関数（関数の呼び出し、ラムダ式）
6. オブジェクト指向基礎（インスタンス生成）
7. ファイル、例外処理

[テキスト]

いちばんやさしいPython入門教室

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：表計算プログラミング

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

Excel操作を通してマクロを理解し、基礎的なVBAプログラミングができるようになる。マクロの基礎知識とVBAプログラミングの基本文法に関する講義・演習を行う。

[講義・演習項目]

1. 記録機能でマクロを体験する
2. VBAの基本を身につける
3. セルを値や書式を操作する
4. 表のデータを操作する
5. 変数で操作対象や値を指定する
6. 関数を使った処理
7. 条件に合わせて処理を変更する
8. 処理を繰り返し実行する
9. ユーザーフォームを利用する
10. 複数の帳票データをまとめる

[テキスト]

Excelマクロ&VBA やさしい教科書

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： 文書表現演習	開講年次： 1年 種類： 専門科目 授業方法： 講義・演習 担当教員： 本学教員	単位数： 4 分類： 選択必修 授業時数： 80																
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>Microsoft Wordの基本機能と操作方法を講義・演習し、文書作成と管理ができるようにする。</p>																		
<p>[講義・演習項目]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 文書を作成する</td> <td>9. 表を作成する</td> </tr> <tr> <td>2. 文書内を移動する</td> <td>10. 表を変更する</td> </tr> <tr> <td>3. 文書の書式を設定する</td> <td>11. リストを作成する、変更する</td> </tr> <tr> <td>4. 文書のオプションと表示をカスタマイズする</td> <td>12. 参照のための情報や記号を作成する、管理する</td> </tr> <tr> <td>5. 文書を印刷する、保存する</td> <td>13. 標準の参考資料を作成する、管理する</td> </tr> <tr> <td>6. 文字列や段落を挿入する</td> <td>14. グラフィック要素を挿入する</td> </tr> <tr> <td>7. 文字列や段落の書式を設定する</td> <td>15. グラフィック要素を書式設定する</td> </tr> <tr> <td>8. 文字列や段落を並べ替える、グループ化する</td> <td>16. SmartArtを挿入する、書式設定する</td> </tr> </table>			1. 文書を作成する	9. 表を作成する	2. 文書内を移動する	10. 表を変更する	3. 文書の書式を設定する	11. リストを作成する、変更する	4. 文書のオプションと表示をカスタマイズする	12. 参照のための情報や記号を作成する、管理する	5. 文書を印刷する、保存する	13. 標準の参考資料を作成する、管理する	6. 文字列や段落を挿入する	14. グラフィック要素を挿入する	7. 文字列や段落の書式を設定する	15. グラフィック要素を書式設定する	8. 文字列や段落を並べ替える、グループ化する	16. SmartArtを挿入する、書式設定する
1. 文書を作成する	9. 表を作成する																	
2. 文書内を移動する	10. 表を変更する																	
3. 文書の書式を設定する	11. リストを作成する、変更する																	
4. 文書のオプションと表示をカスタマイズする	12. 参照のための情報や記号を作成する、管理する																	
5. 文書を印刷する、保存する	13. 標準の参考資料を作成する、管理する																	
6. 文字列や段落を挿入する	14. グラフィック要素を挿入する																	
7. 文字列や段落の書式を設定する	15. グラフィック要素を書式設定する																	
8. 文字列や段落を並べ替える、グループ化する	16. SmartArtを挿入する、書式設定する																	
<p>[テキスト]</p> <p>MOS攻略問題集 Word2016、30時間でマスター Excel&Word2016</p>																		
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																		

科目名： JavaScript

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

インタラクティブなWebサイトを制作するための基礎的な知識と技術を身につけるため、JavaScriptの基本文法、jQueryなどの基礎知識に関する講義・演習を行う。

[講義・演習項目]

1. JavaScriptの基礎知識
2. アウトプットの基本
3. JavaScriptの文法と基本的な機能
4. インプットとデータの加工
5. 応用テクニック
6. jQueryの基礎
7. 外部データの活用

[テキスト]

確かな力が身につくJavaScript超入門

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：Python演習

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

Pythonを用いてGUIアプリ作成やプログラミングの基礎を身につける。また、GUIアプリ作成やプログラミングを通じて、Pythonのプログラミング能力を高める

[講義・演習項目]

1. 基本文法の確認
2. tkinterを用いて、GUIの簡単なゲームを作成する。
3. ランダム関数の使用
4. ゲームのウィンドウ化
5. クラスとオブジェクト
6. 図形を動かす

[テキスト]

いちばんやさしいPython入門教室

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：Windows基礎

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

パソコンの構成部品と役割を学び、パソコンの組立てと分解方法に関する講義・演習を行う。また、Excelを使用し、マクロによる効率の良いシステム作成を行いハードウェア・ソフトウェアの知識を深めていく。

[講義・演習項目]

1. 自作パソコンの特徴
2. パソコン構成パーツ
3. パソコンの組立てと分解
4. パソコン組立てマニュアル作成
5. 効率的な関数の使用
6. マクロによる効率化
7. システムの自動化

[テキスト]

今すぐ使えるかんたん自作パソコン

MOS攻略問題集 Excel2016、30時間でマスター Excel&Word2016

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：サーバ構築演習

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

LinuxOSの基礎的な操作・設定方法を理解し、基本的なサーバ構築を行えるようになるため、CentOSを題材として、LinuxOSのコマンドや設定ファイルの記述方法、また、DNSサーバやWebサーバなどのサーバ構築に関する講義・演習を行う。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. Linuxとは | 8. シェルスクリプト |
| 2. Linuxのインストール | 9. ネットワークの設定と管理 |
| 3. 基本的なコマンド | 10. DNSサーバの構築 |
| 4. 正規表現とパイプ | 11. Webサーバの構築 |
| 5. viエディタ | 12. メールサーバの構築 |
| 6. 管理者の仕事 | |
| 7. ユーザ権限とアクセス権 | |

[テキスト]

- ・Linux標準教科書
- ・Linuxサーバー構築標準教科書

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： JavaScript演習

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

JavaScriptのフレームワークを用いて、インタラクティブなWebサイトを制作する。

[講義・演習項目]

1. HTML/CSSの基礎知識
2. JavaScriptの基礎知識
3. jQueryの基礎知識
4. Ajaxの基礎知識
5. アニメーション作成
6. Webサイトの制作

[テキスト]

確かな力が身につくJavaScript超入門

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： J a v a I

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

J a v a 言語の文法及び基本構造についてプログラミングを行いながら学習する。

[講義・演習項目]

1. Java言語の特徴
2. Java言語の基本文法
3. データ型の種類と変数の宣言
4. クラスとインスタンス
5. フィールド
6. メソッド (オーバーロード)
7. 継承 (オーバーライド)
8. インスタンスの生成 (コンストラクタ)
9. 入出力とパッケージ

[テキスト]

J a v a プログラミング、J a v a プログラミング・アドバンス

J a v a プログラミング能力認定試験 3級 過去問題集

J a v a プログラミング能力認定試験 2級 過去問題集

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： J a v a II

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

J a v a 言語文法の確認から応用プログラムまで、実社会で活用できる知識を修得する。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------|------------|
| 1. Java言語文法確認 | 8. マルチスレッド |
| 2. APIの利用 | 9. JDBCの利用 |
| 3. ストリーム | |
| 4. ファイル処理 | |
| 5. シリアライゼーション | |
| 6. コレクション | |
| 7. ジェネリクス | |

[テキスト]

J a v a プログラミング、J a v a プログラミング・アドバンス

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： コンピュータシステムⅡ	開講年次： 2年	単位数： 4
	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 講義・演習	授業時数： 80
	担当教員： 本学教員	

[講義主要目標及び講義概要]

コンピュータシステムにおける理論や技術を理解し、業務改善におけるシステム化にて、これらを総合的に活用できる知識を身につけることを目標とする。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 情報理論 | 8. データベース設計技術 |
| 2. ハードウェア理論 | 9. 組込みシステム設計技術 |
| 3. ソフトウェア理論 | 10. サービスマネジメント事例解析 |
| 4. アルゴリズムの演習 | 11. プロジェクトマネジメント事例解析 |
| 5. システム構成技術事例解析 | 12. システム監査事例解析 |
| 6. ネットワークシステム事例解析 | |
| 7. 情報セキュリティシステム事例解析 | |

[テキスト]

ITワールド、IT戦略とマネジメント
応用情報技術者 試験対策テキストⅠ、Ⅱ、Ⅲ

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： コンピュータシステムⅢ

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

コンピュータシステムにおける理論や技術を理解し、業務改善におけるシステム化にて、これらを総合的に活用できる知識を身につけることを目標とする。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 情報理論 | 8. データベース設計技術 |
| 2. ハードウェア理論 | 9. 組込みシステム設計技術 |
| 3. ソフトウェア理論 | 10. サービスマネジメント事例解析 |
| 4. アルゴリズムの演習 | 11. プロジェクトマネジメント事例解析 |
| 5. システム構成技術事例解析 | 12. システム監査事例解析 |
| 6. ネットワークシステム事例解析 | |
| 7. 情報セキュリティシステム事例解析 | |

[テキスト]

応用情報技術者 試験対策テキストⅠ、Ⅱ、Ⅲ

データベーススペシャリスト 「専門知識＋午後問題」の重点対策

情報処理教科書情報処理安全確保支援士

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： システム設計Ⅱ

開講年次： 2年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

各種設計の応用知識を身につけると共に、データベースシステムやセキュリティシステムの事例解析を通して実践力を養う。

[講義・演習項目]

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 情報システム開発の概要 | 8. DBMSの理解 |
| 2. 情報システム要件定義 | 9. 情報セキュリティ対策 |
| 3. 情報システム方式設計 | 10. セキュリティシステム計画 |
| 4. 情報システム開発技法 | 11. ネットワークセキュリティ |
| 5. 正規化理論 | |
| 6. データウェアハウス | |
| 7. データベース設計 | |

[テキスト]

応用情報技術者 試験対策テキストⅠ、Ⅱ

データベーススペシャリスト 「専門知識＋午後問題」の重点対策

情報処理教科書情報処理安全確保支援士

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ソフトウェアⅢ

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

ソフトウェア全般、データベース技術、各種のセキュリティ技術について、応用知識を身につける。

[講義・演習項目]

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 基本ソフトウェア | 8. 防御技術 |
| 2. 同時実行制御と排他制御 | 9. 関係理論とSQL |
| 3. 割込み制御 | 10. データモデルと分析 |
| 4. ネットワークプロトコル | 11. DBMSの機能と実装 |
| 5. アプリケーションプロトコル | |
| 6. 暗号技術 | |
| 7. 認証技術 | |

[テキスト]

応用情報技術者 試験対策テキストⅠ、Ⅱ

データベーススペシャリスト 「専門知識＋午後問題」の重点対策

情報処理教科書情報処理安全確保支援士

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ハードウェアⅢ

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

アーキテクチャ、パフォーマンス、ネットワーク技術、セキュリティ技術について
応用知識を学習する。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. プロセッサアーキテクチャ | 8. 通信回線 |
| 2. メモリアーキテクチャ | 9. 情報セキュリティ技術 |
| 3. コンピュータの性能評価 | 10. 情報セキュリティマネジメント |
| 4. 高速化技術 | 11. 分散データベース |
| 5. 冗長化技術 | 12. データベースシステムの設計と実装 |
| 6. コストパフォーマンス | |
| 7. 通信プロトコル | |

[テキスト]

応用情報技術者 試験対策テキストⅠ、Ⅱ

データベーススペシャリスト 「専門知識＋午後問題」の重点対策

情報処理教科書情報処理安全確保支援士

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：情報分析演習

開講年次：2年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：本学教員及び実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

データや情報を適切に分析・加工することは必要不可欠なものであり、こうした情報分析力を高め、データや情報をビジネスに活用するためのスキルを習得する。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. Excelの基本操作 | 9. 資料作成演習① |
| 2. 表の作成 | 10. データベース機能 |
| 3. 表の編集 | 11. 便利な機能 |
| 4. 絶対参照 | 12. Windowsの基本機能 |
| 5. 基本的な関数 | 13. 資料作成演習② |
| 6. 条件付き関数・文字列関数 | 14. データ分析演習 |
| 7. グラフの作成 | 15. グループによるビッグデータの情報分析 |
| 8. 印刷 | 16. 発表資料作成及びプレゼンテーション |

[テキスト]

産学連携講座 情報分析演習（インフォテック・サーブ）

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：卒業システム開発

開講年次：2年

単位数：8

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：160

担当教員：実務経験のある教員（システム開発を受託している企業担当者であり、実務経験に基づいてシステム開発に関する授業を行う。）

[講義主要目標及び講義概要]

本学園での学習の集大成として、グループワークによるシステム構築実習を行う。企業と連携してユーザ（指導者）から要求を聞き出し、企画書や設計書などのドキュメント作成から、開発、テストまでを行い、ユーザに対してプレゼンテーションを行う。

[講義・演習項目]

1. 要求定義
2. 設計書の作成、デザインレビュー
3. プログラミング
4. 単体テストの実施、レビュー
5. 結合テストの実施、レビュー
6. システムテストの実施
7. プレゼン準備、成果発表

[テキスト]

J a v aプログラミング、J a v aプログラミング・アドバンス
J a v aシステム開発演習

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：卒業研究

開講年次：2年

単位数：8

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：160

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

本学園での学習の集大成として、就職先の業界研究など学生がテーマを考え論文を作成する。

[講義・演習項目]

1. 卒業研究概要
2. テーマの研究
3. 情報収集
4. 下書き作成
5. 清書作成
6. 製本

[テキスト]

学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々の提出物、出席等を総合して判断する。

科目名：卒業制作

開講年次：2年

単位数：8

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：160

担当教員：本学教員

[講義主要目標及び講義概要]

本学の学習の集大成として、グループワークによる課題作成を行う。Webページによる動的な表現を含んだ成果物を作成するにあたって、企画書やデザイン案を作成し、納期までにコーディングを行う。また、成果物を提出するにあたり、プレゼンテーションを行う。

[講義・演習項目]

1. 要求定義
2. 企画書の作成
3. ワイヤフレームの作成
4. Webデザインの作成
5. コーディング
6. テスト実施
7. プレゼン準備、成果発表
8. 成果物に対する考察
9. 成果物提出

[テキスト]

学生が収集した卒業制作に関する資料を中心とする。

[成績評価]

授業期間中に提出された成果物及び報告書、出席等を総合して判断する。